

# 全国遭難対策担当者 Web 会議 参加報告

千葉県連教育遭難対策委員 伊東春正（かがりび山の会）

全国連盟 遭難対策部主催による全国遭難対策担当者 Web 会議に参加しましたので報告します。

この会議は Zoom によるビデオ会議で行われ、スタッフが全国連盟事務所に詰め、各県連委員はインターネットにより参加しました。

日程：2020年7月4日(土)～5日(日)

場所：全国連盟1階会議室（全国連盟役員10名ほど）+各県連委員はインターネットで参加

目的：コロナ時代の登山と安全対策について

参加者：スタッフ、各県連あわせて30名

日程：1日目 12:30 受付  
13:00～14:00 基調報告 全国連盟遭対部  
14:00～15:30 講義「登山団体活動でのコロナ対策」  
休憩 30分  
16:00～17:00 事故事例報告  
17:00～18:00 質疑・応答・討論  
2日目 9:00～11:30 討論（欠席）  
全国遭対部まとめの報告の後、12:00解散

会議内容：

## 1. 基調報告（10年間の事故報告から見えてくるもの）

石川遭難対策部長（船橋勤労者山の会）より警察庁発表の事故発生状況と、労山で発生した事故の事故分析の報告があった。

事故分析では、道迷い、転倒などの事故分類を、より状況や状態を把握するために様態1と様態2に掘り下げた分析が目をつけた。

## 2. 講義「登山団体活動でのコロナ対策」

医療従事者から3つのテーマの講演があった。

### ①「心身ともに健康を維持する」

### ②「いま私たちが考えること、できること」

感染予防の三原則を強調していた。

- ・感染源の排除：消毒、感染者の隔離
- ・感染経路の遮断：手洗い、マスク使用、三密回避
- ・抵抗力のUP：予防接種、生活習慣改善など体調管理

### ③「感染予防と熱中症予防」

熱中症予防としてマスクをはずす工夫が大事との話であった。

- ・他の人と2m以上の距離が確保できれば、休憩中もマスクを外しましょう。

熱中症になる影響度を気温（影響度 1）、湿度（同 7）、輻射熱（同 2）でとらえた総合指数（暑さ指数）が地域ごとに公開されているので、参考となる。（<https://www.wbgt.env.go.jp/>）

\*登山に関するコロナ対策として、千葉県連 HP に山岳医療救助機構の資料を掲載していますので参照してください。

### 3. 事件事例報告

①「100分にわたる CPR」栃木県連からの報告。

登山中に心筋梗塞で死亡した事例報告であり、計画書にコースタイムと所要時間を記載し、参加者に自分の体力で歩けるか判断させる というのが参考となった。

②「ココヘリ不携帯」埼玉県連からの報告。

CLが滑落して死亡しており、ココヘリに加入していたにもかかわらず、不携帯のため捜索に時間と要している。

民間の山岳遭難捜索チーム（LISS）による捜索で発見されている。

LISSは国内で一番活躍している組織であるとのこと。（<https://mountain-liss.org/>）

### 4. 質疑・応答・討論

私から2点質問した。

①5/25付で山岳四団体から、登山・スポーツクライミング活動ガイドライが発表されているが、6/19に政府より都道府県をまたぐ移動制限が全面的解除されており、これを反映してガイドラインは更新しないのか。

→各団体からすでに出されているが、四団体からのガイドは遅れている、改定するよう働きかける（川島事務局長）。

②千葉県連では昨年発生した16件の事故のうち、転倒事故が9件ある。

転倒防止策としてストックの有効性について、みなさんの意見をお聞きしたい。

→下記意見が出て、あまり推奨していないようである。（愛知、東京・・・）

- ・登山道が荒れる
- ・ストックの強度に問題がある（SGマーク付きはある程度の強度はあるが）
- ・ストック事故の報告もある
- ・グリップを手首に巻くと、危険である

上手なころび方を指導している（尻をついたころび方）との意見が参考となる。

### 5. 所感

私が所属する会では、スマホでLINEによるビデオ会議を実施しているが、今回はじめてZoomのビデオ会議に参加したので感想を述べる。

・簡単に使用できる。

アプリをインストール後、主催者からメールで送られたURLもしくはミーティングIDを

入力するだけで参加できる。

設定やアカウント登録は不要である。

- ・パソコン画面は大きくて見やすい。

最新の LINE は、WindowsPC には新規導入ができなくなっている。

- ・ホスト側で会議進行をコントロールできる。

意見のある人は、手を挙げる機能をクリックして意思表示すると、ホスト側で参加者のマイクオンを許可できる。

また、この機能により多数決での人数も把握できる。

- ・発表者が画面を共有することにより、参加者は資料を見ながら説明を聴くことができる。

- ・無償版では連続使用時間が 40 分の制限があるが、再接続すれば長時間使えるとのこと。

ビデオ会議は、時間と経費が節約できコロナ後でも有用であるため、Zoom はお勧めしたいソフトである。

### Zoom 画面

